

「こんにちは」から始まる国際交流



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

会報 No. 22 (March 2015)



KIFAクリスマス会にて (2014年12月14日)

Contents

- | | | |
|---|------------------|-----|
| ☆ 会長あいさつ：藤田 美保、 | ☆ 蟹江町長あいさつ：横江 淳一 | 1 |
| ☆ 「外国人学生短期ホームステイ」受入事業とホストファミリーの体験談 | | 2～5 |
| ☆ マリオン市からの派遣団の歓迎パーティー | | 6 |
| ☆ 「タイの友人から突然の電話」 (大島 明博) | | 7 |
| ☆ 「大病から元気になり5年ぶりの旅行」 (富岡 恒子) | | 7 |
| ☆ 「ミャンマー NLDのAIDSセンタ 」 (援助施設への寄付報告：磯部 正弘) | | 7 |
| ☆ 国際交流団体との交歓会報告 (谷中 ひさ子)、国際理解講座報告 (大下 和男) | | 8 |
| ☆ 「かにえ国際交流友の会」紹介パンフレット (英語版) | | 9 |
| ☆ 世界の国旗 (シンガポール)、2015年度行事予定、企業・賛助会員一覧 | | 裏面 |

会員ならびに歴代役員の皆様への感謝

会長 藤田 美保

私達の「かにえ国際交流友の会」は紹介のパンフレット(ページ9)にもありますように1993年に活動をはじめてから今年で22年になります。この間の国際交流関連活動が評価されて蟹江町から表彰されるに到ったことは会長として大変うれしく思います。ここまで長く続けて来られたのは前会長の棚橋さん、あるいは歴代役員を含め、すべてのボランティア役員皆様の努力と協力、そして会員皆様の支援のお陰であると深く感謝いたします。同時に、会の設立から今日まで会の理念を理解し、活動を支持して頂いている歴代ならびに現町長はじめ、蟹江町関係部局の皆様方にもこの場を借りて感謝したいと思います。

お陰さまで、このように長く活動を続けている当会ですが、悩みの一つは以前にも言及しましたが役員(それに会員も?)の平均年齢上昇です。現行の役員ならびに参加される皆様は元気で実際のイベント活動では支障はほとんどないのですが、何とか若い人に運営に加わっていただいて彼等の発想を会の活動(特に新規な行事の立案等)に取り入れたいところです。

また、個人的にはかつて行ったドイツ(ハンブルグ)へのホームステイ旅行派遣、あるいはホームステイ交換(外国からの受け入れとこちらから出かけること)のような親睦交流を復活あるいは新しく企画できればと考えます。会員の方においても上記に関する情報あるいは国際交流全般についてご提案があればぜひお寄せ下さいようお願いいたします。

(表彰実績:「多年にわたり、国際的な相互理解と交流の促進に貢献」、表彰式:2014年11月3日)



かにえ国際交流友の会への期待

蟹江町長 横江 淳一

K I F Aの皆様におかれましては、日ごろから地域の国際交流にご尽力いただき、心から敬意を表し、厚くお礼申し上げます。

特に、昨年度は、蟹江町の姉妹都市であります米国マリオン市から初めてとなる派遣団が来町された折に、盛大なるウェルカムパーティーを催していただき、誠にありがとうございました。多彩な手作り料理を始めとした温かいおもてなしのおかげをもちまして、マリオン市の方々には心から喜んでいただき、参加者同士が楽しく交流を図りながら、姉妹都市との親交を深めることができました。

また、年間を通じて様々な事業を展開していただいておりますが、名古屋大学に滞在する外国人研修生のホームステイ受入事業では、歓迎会に私も参加させていただき、モンゴルの遊牧民の家庭で育った学生から、家族の居場所を探すときに、携帯のGPS機能を活用しているという興味深い話を聞くことが出来ました。国際理解講座では、ドイツ人のオリバーさんを招いての講演・試食会を通じて、社会の仕組みや人生観の違いなどを楽しく学ぶ機会となりました。さらには、恒例となっております「かにえ町民まつり」における出店では、国籍を問わず多くの来訪者で賑わう貴重な交流の場をご提供いただきました。

このように、K I F Aの活動は、様々な段階に応じたプログラムが展開されており、地域の外国人の方々にとっても、活動のネットワークが生活支援につながるものであります。今後も、蟹江町における国際交流推進の中核を担う団体として、より一層ご発展されますようお祈り申し上げます。



2014年度に実施した主な行事

開催日	行事内容
2014年 4月 20日 (日)	総会・懇親パーティー
6月 15日 (日)	親善ボウリング大会(カニエボウル)
7月 13日 (日)	マリオン市からの派遣団ウェルカムパーティー
8月 22日 ~ 24日	名大外国人研修学生6名の歓迎会とホームステイ受入
10月 11日 (土)	蟹江町オータムフェスティバル参加・出店(町役場前)
12日 (日)	同上
12月 14日 (日)	クリスマスパーティー(源オコミュニティセンター)
2015年 2月 27日 (金)	豊橋コスモス会と東栄町国際交流協会との交流懇談会
3月 1日 (日)	国際理解講座開催:講師 オリバー・マイヤーさん (本文ページ参照)
3月 31日 (火)	当会報(No.22)発行

「名古屋大学法学部外国人研修学生の短期ホームステイ受け入れ事業」

2014年8月22日～8月24日

ホームステイの学生と受け入れ先

国名	氏名	呼称	性別	受け入れ代表者名
カンボジア	ミアン・ピッチダビナー	ピナー	女	伊藤 悠紀子 蟹江町
カンボジア	カン・シンイアン	シンイアン	女	真鍋 マユミ 日進市
モンゴル	ムンフバット・ドルジスレン	ドルジョ	男	山田 昭文 蟹江町
モンゴル	エルデンバット・シュレンツェツェグ	シュレン	女	戸谷 規子 蟹江町
ウズベキスタン	イスモイロフ・アリシエル	アリシエル	男	戸谷 滂佐 蟹江町
ベトナム	レ・トゥ・タオ	タオ	女	一柳 敏恵 名古屋市



歓迎パーティー (8月22日)



持ちよりの手作り料理類を賞味



歓迎の演奏

名古屋大学法学部で夏期研修する外国人学生の短期ホームステイ受入

2015年8月にも名大から学生の受入をする予定です。彼等は法律を学ぶ、優秀で真面目な学生で、日本語も堪能です。言葉の壁もありませんので、この機会に新しい形の国際交流の経験をされては如何でしょうか。ホストファミリー事前予約も受け付けています。

山田 昭文

我が家にとって四回目のホームステイです。過去にモンゴル男子学生二回と韓国女子先生と続きましたが今回はモンゴル男子学生「ドルジョ君」です。初日役場で会った時の第一印象は大変元気で人懐っこい雰囲気でしたが、はなし始めたら正にその通りの明るい学生でした。日本語も我々との日常会話は全く問題なくすぐに我が家に馴染んでいきました。ビックリしたのは、過去のモンゴル学生はウランバートル市民でしたがドルジョ君はあの遊牧民出身です。本やTVで遊牧民のことは多少知ってはいましたが実際の生活ぶりを聞けるとはホームステイの醍醐味です。ゲルの組み立て方、食事、水、仕事、慣習と聞きたいことが次から次と湧いてきて深夜まで話し込んでいましたが、彼は嫌な顔ひとつしなくてつきあってくれました。大草原の真ん中では郵便、通信ができませんが彼らの生活ではそんなことは重要なことでなく「自然に人間が合わせた生活」「自然との共生」がもっとも大事なことで知りました。



二日目は恒例のフリータイムです。ウズベキスタンのアリシエル君も同行してセントレアそばの新舞子海水浴場です。ドルジョはズボンをまくって海水につかっていたがアリシエル君は水着持参でしたので沖までスイスイです、聞いたら自国でスイミング教室に通っているそうでそんなに珍しいことではないとのことでした。午後はイオン茶屋店で遅い昼食にショッピングと夕方まで過ごしました。自国には小型のスーパーはあるがこんなに大きい店は初めてのようでみやげや彼女へのプレゼントを買いまくっていました。異性にプレゼントして気を引くのは万国共通のようです。

最終日に役場へドルジョを送っただけで他用のため記念写真を一緒に撮れず彼が寂しがっていたと後で聞き悪いことをしたなあと反省です。一週間後に名古屋大学でのお別れパーティがありドルジョに再会しました。彼は必ず数年後に名古屋大学院へ入るから又我が家へ遊びにいくとのこと、我々は大歓迎と約束して別れました。

ホームステイは「身近な国際交流」が私の気持ちです。異国の人を迎えることによりその国のことを教えてもらいます。それだけに彼らに本当の日本を分かってくれたのか、対応にまずいことはなかったのかと反省の念が常にあります。彼らが帰国してから更に成長して自国や他国のために活躍してくれるのが最大の望みです。

KIFAの今後の活躍と又来年も素晴らしい外国人を紹介していただきますようお願いして感想文を終わります。

追)一昨年ホームステイにきたモンゴル学生プーちゃんから10月から名古屋大学院で勉強しており近日遊びにきますとメールがありました。こんなうれしいことはありません、再会を楽しみにしている最近です。

「シルクロードの國から日本へ」

戸谷 滯佐

ウズベキスタンのタキシント国立法科大学のアリシエルを受入れました。アリシエルから事前メール



をもらい文章がとてもわかりやすく丁寧に書いてあり、外国の青年が日本人より日本語を理解していると感心する一方、誰かの添削かしら

と思うくらいに文章が整っていました。

わが家に来て 靴を揃えて入り挨拶は「お世話になります」「よろしくお願ひします」。歓迎パーティーに出席しなかった主人と娘に会い二人からも「日本語うまいねー」が第一声でした。部屋の間取りと日本家屋の良さを伝えてお風呂へ。息子のアドバイスがあり生活そのものには何の支障もなく過ごすことが出来ました。



2泊3日という短い時間ですが土曜日は新舞子へ海水浴と名港水族館へ、一緒に来たモンゴルのドルジョと我が息子と3人、山田さんに連れて行ってもらいました。その日の夕方から豊田スタジアムへサッカー観戦に出向き楽しかった楽しかったと何度も言っていました。日曜日は前日夜遅かったため朝はゆっくり起きてきました。

わが家の日々の生活を体験してもらいたくて、仏壇の前でお経を一緒に唱えてもらいました。宗教は違いますが我家の仕来たり等を教えて正信偈(真宗大谷東本願寺)と一緒にゆっくりとお経を唱えました。仏間には先祖代々の写真の説明と数珠の説明をして、抹茶の頂き方と庭を觀賞して日本とウズベキスタンの違いなどゆったりとした時間を送りました。お昼になり「何が食べたいか?」と聞きました。「回転寿司へ行ってみよう」という意見でしたので連れていきました。回転寿司を見て、TVで見た事はあるが本物は初めてと楽しそうに写真に納めたりしていました。

アリシエルの将来の夢を聞きましたら「外交大使」になるという確固たる信念を持っていてまず 来年は名大の院生に入学し、日本人の法律を順守する考え方を学ぶことが大切だと言っ

ていました。帰る時には「ウズベキスタンのタキシントに是非遊びに来て下さい。」と言い残しました。一度は行って見たいなーと強く思いました。



伊藤 悠紀子

今年もホストファミリーとして、カンボジア女子学生ビナーを引き受けました。昨年ホームステイに来たディナーとは帰国後も交流し、6月にはカンボジア王立法経大学内にある名大法教育センターで、夫が書道講座をボランティアさせて頂いた。3年生の講義時、既に夏季セミナー参加者は決定しており、帰国後ビナーから“先生の所でスティしたい”とリクエスト貰ったが、はたして蟹江町に依頼は有るのか??? 幸いにも名大よりの振り分け先は蟹江町!早速引き受けを申し込みました。

事前にホームステイ中の希望を聞くと、①盆踊りに参加したい②日本料理を教えて欲しい③名古屋の観光地に連れて行って の3点でした。カンボジアでも日本人会が盆踊り大会を催してるようで、本場の盆踊りが経験したいらしいが時期的に無理、②③で考えてみる事に。世界的に日本料理と言っても思いつくのは、お寿司!でもありきたりでは面白くないと思い、焼き鯖押し寿司を作ることに。さて困った...

名古屋の観光地?名古屋城?水族館?東山動物園?。インドネシアから名大に研究に来ている方に相談したら、“日本の歴史を知る上でも、明治村がお薦め”との忠告頂いた。

23日土曜日は、明治村+名古屋城+伊勢湾岸道長島パークキングエリアからの花火と計画した。ウェルカムパーティでは、カンボジアの踊りを参加者に指導しながら、輪になり大盛り上がりで楽しんだ。翌日は朝からとても暑い日で尚且つ不安定な空模様、出来るだけエコモードでまわる為にミニ SL や懐かしいボン



ネットバスに乗りながら、あちこち歩き回った。明治時代の衣装で写真が撮れる施設に入館、彼女が選んだのは『おはなはん』(大分古いですね)の矢舻・袴の女子学生スタイル、プロマインドが出来る程一杯写真撮影。歩き疲れて、帝国ホテルの喫茶部でティータイム後、名古屋城へ。

こちらは流石名古屋の名所で外国の方が一杯、天守閣展望台より名古屋市街を巡り、

下りながら各階の展示物や江戸時代の三英傑の関わりを拝見、短い時間ではとても理解出来そうもないです。長島の花火は、現地まで行ったもののお昼過ぎに悪天候により中止が決定されており(ざんね~んでした)、足湯で疲れを取って帰宅。翌24日、寿司作りの準備が整うまで、夫が蟹江町ご近所を散歩がてら案内。押し寿司は珍しい様でカー一杯押して中々の出来栄え、残りの酢飯で海老天巻き・簡単巻き寿司も仕上がり、お昼ご飯で味見。美味しく頂きました。休憩後、我が家らしくマンツーマンで書道練習、昨日の花火が心残りらしく、書いた文字は『花火』。名残惜しいですが、送り出す時間が迫ってきました。役場玄関前で大きなお土産を持った学生たちと合流して、名大に帰ってきました。

現在のビナー：カンボジアの大学を休学して、9月末より北海道大学に一年間の語学留学中、既に日本語・韓国語・中国語・英語・仏語・タイ語を学びマルチリンガルの彼女の夢は外交官だそうです。(彼女の言語能力はどうなってるのか??)多くの友人とネットワーク作って、カンボジアの為に活躍して貰いたいです。機会があれば北海道で再会したいと思います。



KIFAの楽しい行事風景 - 親善ボウリング大会(6月15日) -



15レーンを借り切ったのボウリング大会



豪華賞品一覧



賞品の米をゲット

私はずっと一度はホームステイの学生を受け入れたと思っていました。この度 伊藤悠紀子さんの紹介でカンボジアの留学生シンイアンちゃんを受け入れることができました。昨年夫とカンボジアを訪れた折帰国して何故か心重い日々をすごしていました。日が過ぎる程に懐かしさを感じるようになりました。それが私の幼ない頃日本の戦後の大変だった生活と重なっているのかと時々思い出していました。

今こうしてシンイアンちゃんとお逢いできましたのも何かのご縁かなと感じました。蟹江のウェルカムパーティを終えて我が家に帰宅した頃、文化の違いを乗り越えて日本の家庭にとけこみ好奇心旺盛なお嬢様で私共も孫かと思える程嬉しく安心致しました。

二日目には私の2人の孫(大学生)と朝早く私も含めて4人で大須へ出かけました。まず地下鉄が珍しい様子でした。仏教国カンボジアですが大須観音で日本式でお参りしました。沢山のお店を見ながら街中を4



人で歩きながら浴衣を売っている店を見つけて入りました。シンイアンちゃんはカラフルな浴衣の柄の中から夢中で自分の好みの浴衣を見つけて何度も試着して浴衣、帯、下駄を日本の土産と持たせてあげました。帰宅後

早速孫たちと一緒に着ました。日本人よりも日本人らしくとてもよく似あっていて喜びあいました。

4時から私の娘のファミリーも合流してわが家でミニコンサートを開きました。知人の楽器演奏者と孫の琴の演奏で日本の文化の披露です。孫はさくらさくらの奏で方を彼女に教えて一生懸命マスターして上手に弾けるようになり拍手喝采でした。歌や珍しい楽器(ライア・オカリア)で楽しい一時でした。夕食も皆で一緒に作り特に巻き寿司は難しいながら挑戦。彼女は出

来上がりほっとした笑みを浮かべていました。

三日目 我家の隣で子供達の習字の練習をしている



所を見学し先生に葉書に「愛」と書いて戴きました。その後近くの有名な神社にお参りに行きました。日本式のお参りを済ませた時赤ちゃんのお宮参りの方達(祖父母、両親、赤ちゃん)がお見えになりました。「カンボジアの方ですよ」と彼女を紹介

しました処「国際協力交流ですね」と言ってシンイアンちゃんに赤ちゃんを抱かせてくれ暑い日ですのにかわいい産着を着せて写真迄写してくれました。日本の伝統的な行事に参加出来たことも幸せな光景でした。昼食は彼女の希望で「やきそば」を作りました。カンボジアにはない食事だそうですが娘達と一緒に作り美味しいと連発しながら食べていました。前日の夕食私は色々考えて一生懸命作りましたが焼きそばに感動したようです。午後 県美術館で絵の展覧会を見て彼女にとって初めてのハイウェイを走り蟹江の書家の伊藤先生(悠紀子さんのご主人)のお宅で書道のけいこを真剣にして色紙迄完成させました。

短い滞在でした。初めてのことで何をしてあげればいいのかと模索しながらあつというまもなく彼女との生活が終わりました。きっと大変なカルチャーショックを受けたと思いますが口にもたさず笑いの中に消し何事も真剣な姿は前途洋々な留学生です。これからのカンボジアの将来を背負っていかれる方でしょう。少しでも日本の文化、家庭を感じて戴きましたら嬉しく思います。別れの時日本の女性が言えない程の丁寧なお礼の言葉、頭を深く下げていた姿に私も涙が止らず忘れることが出来ません。大変素晴らしい機会を与えてくれましたことに厚くお礼を申し上げます。

KIFA日本語教室「日本語しゃべろう会」の案内

★火曜日クラス：毎週火曜日、10:30-12:00

★土曜日クラス：毎週土曜日、19:30-21:00

場 所：蟹江児童館

場 所：中央公民館(蟹江町役場裏)

連絡先：若山高義、Tel 0567-95-5291

連絡先：八神里美、Tel 090-9929-1260

受講料は無料です。詳細については上記の各担当者までご連絡下さい。

土曜日クラスでは日本語ボランティア講師を募集しています。興味ある方連絡下さい。

KIFA英会話教室へのお誘い(会員対象です)

★ 講師：ジョン山本先生、第2、第4日曜日(月2回)、場所：中央公民館 ★

クラスA：午前9:00-10:30

クラスB：午前10:30-12:00

連絡先：青木猛、Tel 0567-31-1216

歓迎 ☆ 姉妹都市米国マリオン市



Welcome Marion City, U.S.A



2014.7.12~7.18

マリオン市からの派遣団ウェルカムパーティー
2014年7月13日



かにえ国際交流友の会 (KIFA)



マリオン市からの派遣団の皆様の自己紹介

蟹江町産業文化会館にて蟹江町の歓迎式典の後、KIFA主催の歓迎パーティーを催しました。



歓迎の手作りケーキをどうぞ
(マリオン市と蟹江町の標章入り)



着物をきて、
で和食をどうぞ



マリオン市の市章



前にマリオン市を訪れた蟹江の中学生と交歓

「タイの友人から突然の電話」

大島 明博

12/31 と 1/10 にタイの友人から突然電話が有りビックリしました。二人とも20年以上前に我が家にホームステイしたことがあります。



彼女達はお互いに面識がないと思います。二人とも再来日したことがあって妻の電話番号を知っていたようです。当時、二人とも大学生でした。

私も21歳の時、海外へ出る機会があり、シドニー、キャンベラ、クライストチャーチ、ウェリントンでホームステイを経験させていただきました。親切なご家族に感謝し、私も余裕のある生活ができるようになったらぜひホストファミリーをしてみたいと思っていました。

35歳ごろからタイを中心とした東南アジアの若

者達を20人ほど受け入れました。その間に数カ国でホームステイもさせていただき、特にダッカのラーマンさん、ハンブルグのベッカーさんから「日本の若者を何人も泊めたけれど、お礼の手紙が一度来ただけでその後は届かない」と寂しそうに話されていたのが印象に残っていました。そういう事もあり、海外の友人



達と30年ほど手紙のやり取りをしていましたが、数年前に止めてしまっていたので、二人からの電話はととても嬉しかったです。さっそくアドレス帳を見て趣

味の俳句と絵を描き、絵手紙にして昔の友達に15通ほど投函しました。

「大病から元気になり5年ぶりの旅行」

富岡 恒子



ハロー！ オラー！
大病からやっと元気になり5年ぶりの旅行。今までカーフェリーの船旅経験は何度かあったが豪華客船は初めてである。5年前までは年1回以上の海外旅行は恒例で、国際交流の輪を広げていました。ヨーロッパ方面は必ず時差ボケになり1週間

ほど苦しみ、アメリカ方面は何ともなく普段どおりの生活を過ごせました。

今回の船旅は24時間がアツという間で寝る時間

がもったいないほど、することが次から次へとありました。外国人に日本語を教えているせいか、香港の夫婦とも友達になりFBで連絡を取り合っています。カジノフレンドもでき、最初は100ドルほど損をしましたが友人のおかげで少しはプラスになりました。次回も会う約束ををし、私もリピーターになりました。食事も最高でしたが夜の催し物、ショーも最高！！船内のショータイムには旅費以上の幸福をいただき感謝！！



「ミャンマー NLD の AIDS センター」

磯部 正弘

約一年ぶりにミャンマーを訪れました。街中を走る車が益々綺麗になり、高級車が増え、渋滞が日常的になってきました。今回もかにかえ国際交流友の会から1500ドルをお預かりしまして、ジャパンハートに1000ドル、そして今回初めてアウン・サン・スーチーさんが率いる政党 NLD (国民民主連盟) の AIDS センターに500ドルを寄付してきました。



あまり。第二施設は子供が三十名、大人が五十名あまりとの事です。第三施設は現在建築中ですが、寄付金がなかなか集まらず、工事が中断しているようでした。



第三施設が出来ましたら、第一第二施設に暮らしている患者さんが、一つの建物で治療できるとの事でした。経済発展がすさまじいスピードで進んでいるミャンマーですが、都市部

NLD の AIDS センターは2002年から始まり今年で13年目との事で、第一施設は大人ばかりで百名

での発展は見受けられる一方、田舎へ行くとまだまだのようです。

谷中 ひさ子

人口約 38 万の豊橋市には 1 万 4 千人近くの外国人が在住、愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学への留学生も大勢滞在しているようです。その豊橋で国際協力の会として活動している「コスモス会」から声をかけていただき、KIFA のメンバー 8



二川宿本陣にて

人は、まだまだ寒い 2 月末、豊橋へ出かけました。

名鉄豊橋駅から豊橋鉄道渥美線に乗り換え「南栄」の駅で降り、公園の中を抜けて会場の「アイプラザ豊橋」へ。コスモス会の方達に加え、東栄町からバスで参加された東栄町国際交流協会の 21 名の方達がすでに席についておられ、楽しい会になりそう、と期待が膨らみます。

豊橋素人歌舞伎保存会の方から歌舞伎について話を聞いた後、参加者全員で白波五人男のセリフを練習し

ましたが、にわかに出来るものでもなく大笑いです。その後、各会について説明。コスモス会は毎週集まって、外国人に日本語を教えたり日本の文化を体験させ、また、東栄町国際交流協会は積み立てをし、3 年に一度海外へ出て外国を身近に、とそれぞれ異なる国際交流を行っていることがわかり、大変参考になりました。

コスモス会の方の車で二川宿本陣資料館へ。ここは江戸時代の本陣であり、大名や公家など貴人の宿舎であったものを修復して一般公開しています。丁度、二川地区の旧家に伝来した幕末から昭和までの雛飾りと、つるし飾り愛好会の方達が作った多くのつるし飾りを披露して

いました。豊橋と東栄町の方達と良い交流が出来た上に、豊橋の文化や歴史にも触れることができ有意義な一日でした。



国際理解講座

「オリバーさん（日本在住 14 年）の見た、感じた日本」 ～ドイツの人々の暮らし・町並み（環境）と比べて～

大下 和男

講師のオリバー・マイヤーさんはドイツのルール工業地帯エッセン市ご出身で、現在愛知教育大学准教授です。



オリバーさんと朗子さん

日本とドイツはともに敗戦国でありながら、GDP が 3 位、4 位と先進国の一角を担う国に発展してきました。そこには共通した課題があり、

また異なった対応の歴史もありました。

今回の講演は、「環境・エネルギー」「食物」「労働

問題」「教育」などを中心に、日本在住 14 年の中で見たり感じたりした日本の事情と比べながら、興味深いお話をしていただきました。取り上げたテーマは比較的にかたいものでありながら、ユーモアを交えたお話はしばしば笑いを誘い、なごやかな雰囲気の中でした。

また、お楽しみの、講師にかかわりのある国の食べ物はアプフェルシュトルーデル（リンゴの巻き菓子）でした。これはドイツ南部からオーストリアのお菓子です。オリバーさんの奥様、朗子さんのご指導の下、KIFA のメンバーの奮闘によって作られました。甘い香りが会場に漂う中、皆で美味しくいただきました。

オリバーさんの講演は、質疑応答に至るまですべてわかりやすい日本語でおこなわれ、高い日本語力にも敬服させられました。（講演：2015 年 3 月 1 日）



アプフェルシュトルーデル
(生クリーム添え)



講演会場風景

「こんにちは」から始まる国際交流



<http://kifa.kan.co.jp>



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

Welcome to Kanie International Friendship association (KIFA) !

KIFA is a voluntary and non-profit organization based in Kanie, which is accredited with a grant by the Town Hall of Kanie.

There has been an increasing number of foreign residents and workers as well as visitors from abroad over the past decade in Kanie. As a result, people come across more foreigners in the town than before.

In such an atmosphere, some people felt it was better to provide more opportunities for foreign and Japanese people to get to know of each other. Then, KIFA was set up as a friendly organization by several founder members in April 1993.

We now have over a hundred members from Kanie and the vicinity, and are doing some activities with the motto,

”「こんにちは」から始まる国際交流”, which means, "Saying Hello" comes first to make friends with foreign people around us.

One of our main aims is that Japanese and foreign people can keep in close contact and gain a deeper knowledge of each country, or of the way

each nationality lives. This focus will hopefully diminish any misunderstandings, arising from cultural differences, if any exist.

We develop some activities, and hold parties such as a barbecue or Christmas party, several times a year so that Japanese can mix with foreign people in a happy atmosphere, and we also expect to act as host families for foreign visitors to Kanie from abroad.

In addition, we are hoping to give help on a daily basis to foreign residents, including having regular Japanese classes.



Japanese calligraphy in a KIFA's Japanese Class

Some of Annual Events & Parties

- | | | |
|----------|-------|--|
| April | | General Meeting & Buffet Party |
| May | | Friendly Bowling Matches |
| August | | Welcome Party for the Short-term Homestay Students |
| October | | Kanie Town Festival (For a Donation to Charity) |
| December | | Christmas Party (Mini Concert & Dancing etc.) |
| February | | Lecture by an Invited Guest on his or her Country |

Contact:

Mr. Miho FUJITA(D.Sc.), the chairperson, Tel : 0567-95- 9724, E-mail: fujita@nsc.nagoya-cu.ac.jp or Kanie International Friendship Association, c/o The Policy Propulsion Department of Kanie Town Hall, Tel: 0567-95-1111& Fax: 0567-95-9188

世界の国旗：シンガポール共和国



シンガポールはマレーシアの1構成州として独立した2年後に分離独立した。この国旗は1州当時のもので、三日月はイスラム教、五つの★は民主主義、平和、発展、正義、平等を表し、赤は友愛と平等を、白は純潔と徳性を表す。

KIFAイベントボランティア募集

右記の行事、イベント等でお手伝いして頂ける方を募集します。各役員の方まで声をかけて頂ければ幸いです。よろしくお願いします。

2015年度の主な年間行事予定

日時	行事
2015年4月19日	総会、懇親パーティー
6月21日	親善ボウリング大会
8月中旬	名大研修学生ホームステイ受入予定(2泊3日)
10月10, 11日	蟹江町民秋まつり参加
12月13日	クリスマスパーティー開催
2016年2月中旬	国際交流関連事業
3月末	会報 (No. 23) 発行予定

KIFA主催の通年教室(講座)

- 日本語教室(無料、外国人向け)
 - 英会話教室(有料、会員向け)
- (本会報中に各教室の案内があります)

ご協力ありがとうございました。引き続きご支援をお願いします。

企業会員

蟹江住宅設備(株)

蟹江ライオンズ倶楽部

賛助会員

アソビックスかにえ	イソベ商事(株)湯本館	イマニ外国語教室	宇佐美自転車商会
甘強酒造(株)	(株)クリンテック	(株)近藤溶接	高須石材店
月星歯科クリニック	日光鋳工場(株)	福谷管工(株)	松屋呉服店
丸信製粉(株)	味彩もへの	愛知黎明高校	(株)若菜
渡辺畳店	呉服専門の店いとり	(株)綿新商店	

KIFA ホームページ <http://kifa.la.coocan.co.jp>

☆☆ 編集後記 ☆☆

KIFA会報は通常年1回、3月末に発行されます。その内容は当会の年間行事関連報告等と、広い意味での「国際交流」関連の寄稿記事を中心に構成されています。記事等は常時受け付けていますので、どうぞ右記の連絡先までお寄せ下さい(ふ)。

発行：かにえ国際交流友の会

会長：藤田美保

TEL. 0567-95-9724

E-mail. fujita@nsc.nagoya-cu.ac.jp

事務局 蟹江町役場政策推進室内

〒497-8601 蟹江町学戸3丁目1番地

TEL. 0567-95-1111 FAX. 0567-95-9188